

2022年度休眠預金活用事業（通常枠）
[資金分配団体]



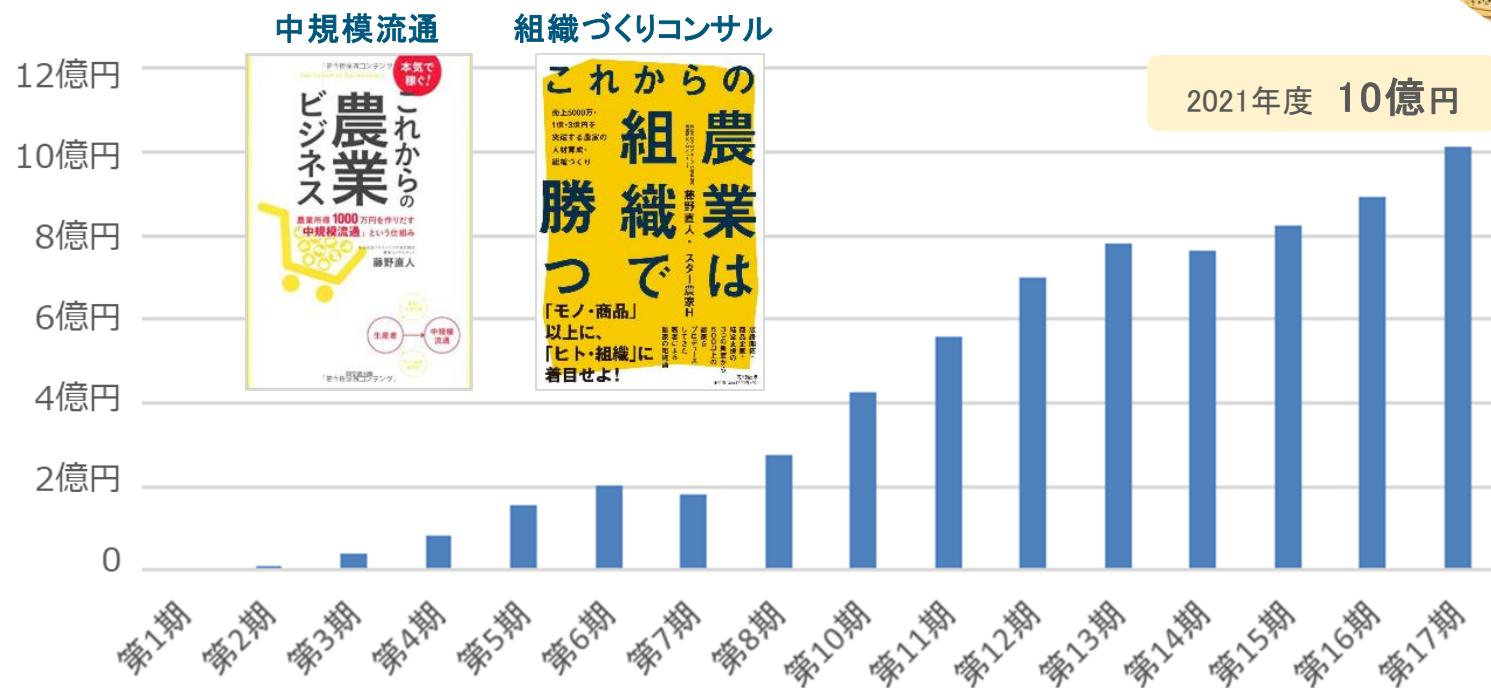
2023年度通常枠 第2回公募前研修

2024年4月18日
株式会社クロスエイジ
代表取締役 藤野直人

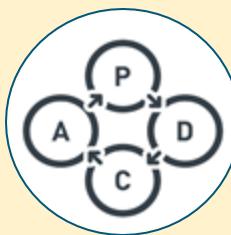
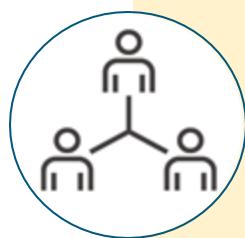
- 1. 自己紹介**
- 2. 本日伝えたいこと**
- 3. 休眠預金活用事業に申請した背景**
- 4. 実行団体公募前の取り組み**
- 5. ロジックモデルについて**
- 6. 最後に一言**

19年間、農家の成長・成功と共に

創業	2005年3月
事業内容	農業総合プロデュース事業 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; display: inline-block;">2つの収益モデル</div> ①農産物の販売に際しての商流差益 ②農家に対するコンサルティング収益
拠点	春日本社／福岡本店／仙台サテライト
資本金	79,700,000 円
代表者	代表取締役 藤野 直人
スタッフ数	30名（役員、正社員、パート・契約） ※役員・正社員の60%が新卒・第2新卒



プロ農家に対して、スター農家になりたいという願望を
「販路開拓・商品企画・経営支援」で解決



組織づくり支援



販路開拓



数値化経営支援
(スター農家クラウド)



中期経営計画作成



商品化



供給・販売企画

■採択事業名

地域のスター的な農家による農福連携事業

(副) : 大規模農家の福祉部門の内在化による地方在住の障がい者雇用創出

■実行団体に期待する活動概要

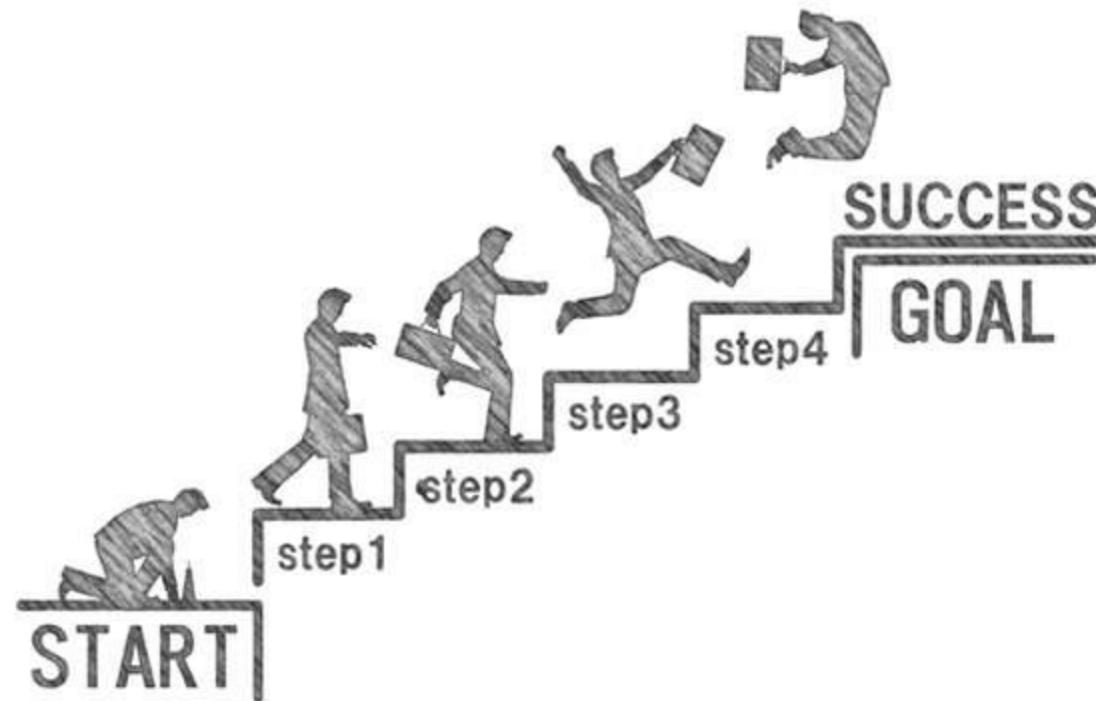
本事業により福岡県を中心とする九州地域及び宮城県を中心とする東北地域 等において、実行団体の活動地域で「スター的農家」が

内部機能として設立した就労支援事業所が自走できるようになり、
都市部に比べて雇用機会に恵まれない地域での運営により、

「大規模農業経営の安定した人材確保と経営」「障がい者の農業現場での活躍」ができる地域や社会を目指します。



仮説がはっきりしていると楽！



休眠預金活用事業に申請した背景

01

人材不足



02

所得の低下



03

雇用枠の 地域差



① 農家の人材不足

高齢化や担い手不足による慢性的な人手不足に加えて、
コロナ禍で外国人人材の確保が困難になっており、
農家の人材不足は加速しています。

② 物価高騰による農家の所得の低下

原油価格、物価高騰に伴う農薬、肥料、燃料代、最低賃金、輸送費、包装資材の値上げが相次ぎ、
結果として農家の所得は低下しています。

③ 障害者の就労機会の地域差

国の障がい者への支援政策は加速していますが、既存の就労支援事業所では
障がい者が得意とする作業の切り出し不足、法定雇用率達成や給付金が目的化している現状があります。

また、都市部に在住している障害者に対しては9割程度の雇用枠がある一方、
地方に在住している障害者に対しては1割程度の雇用枠しかないという就労機会の不均衡があります。



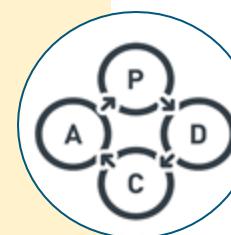
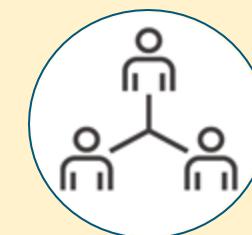
販路開拓



供給・販売企画



中期経営計画作成



組織づくり支援

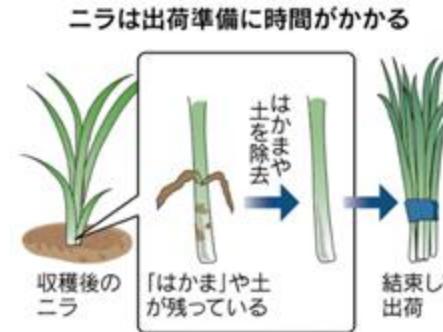


当社の業務用ニラ取扱量年間240トンのうち80トンを供給。
売上9,000万円（2020年3月）。

2010年にクリーニング事業を展開する企業の農業部門として立ち上げ。2019年秋、熊本県の補助金を活用して新選別場を立ち上げ、日量700kgから1,500kgへ選別能力をアップ。

【現場力を福祉の人材でカバー】

農業生産法人とは別法人で福祉事業所を立ち上げています。農業分野においては「作業の洗い出し・切り出し」がポイントとなります。生産・販売の拡大に伴って障がい者の利用者数（50人近く）も増加しています。



「ニラ」生産で7,500万

「出荷準備」作業の切り出し（福祉部門）



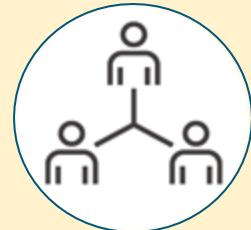
供給・販売企画



販路開拓



中期経営計画作成



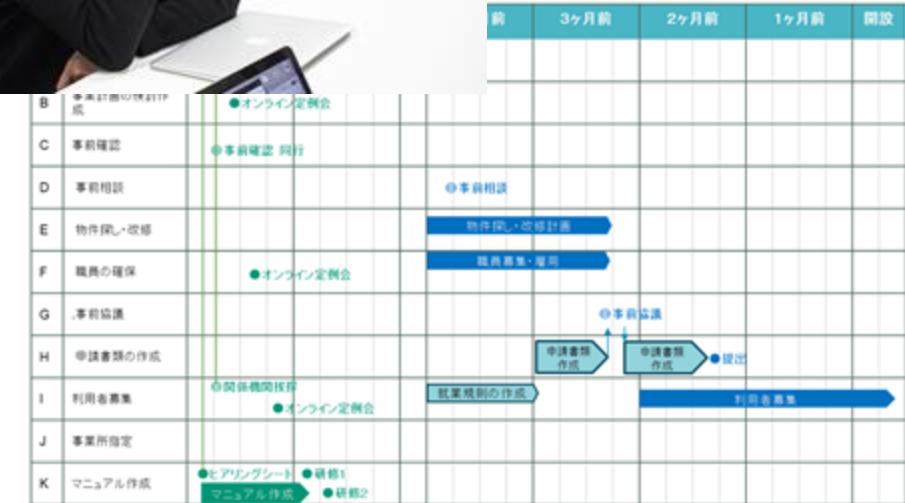
組織づくり支援



2014年の夏、日本農業経営大学校在学中に中瀬兄弟の弟・健二さんが3ヶ月間インターンシップで当社に。全量JA出荷で部会からも高い評価を得ていたが経営が良くならず、直販に切り替え。兄・靖幸さんの独自販路開拓も多数あり、全量直販に。43あった農協との取引規格も9通りになった。

農福連携との出会い：中瀬農園（熊本県）

息子さんの存在や障がい者のパフォーマンスの高さに気づき、意欲的に農福連携を推進。7,000万を超える事業規模に成長してきたことなどを背景に、自社で福祉部門の内部化（就労支援事業所設立）の検討を2020年から開始



■ 障がい者の直雇用

■ 専門家による開設サポート

地域のスター農家が福祉部門も持ち、うまく作業の切り出しを行い、**地方の障がい者が活躍できる場を提供**することで**Win-Winな取り組み**になる。

しかし、他産業と比べ財務基盤が脆弱である農業法人では施設や設備投資の費用を容易に捻出できないと思っていたところ、休眠預金活用事業を紹介いただいた。



一般社団法人SINKa

ソーシャルビジネスのコンサルティングなどを行ってきたノウハウを活かし、農業界の脆弱なガバナンスやコンプライアンス関連の規定の整備、資金分配のサポート致します。



株式会社クロスエイジ

約20年にわたり農家の農業経営を総合的にプロデュースしてきた地意見を活かし、すべての実行団体の伴走支援を行います。



株式会社ONE GO

あまおう農家と障がい者就労支援ベンチャーの共同で設立された農業法人。支援事業所の運営・地域や関係機関との運営をサポート致します。

実行団体公募前の取り組み

■採択予定実行団体数：6～10団体

■事業採択金額規模：1億5,000万円 + 評価関連経費5%

■1団体あたりの助成額（上限及び目安）

- ①母屋一部や選果・選別所の一部等で、既に施設スペースがあり、改修と設備設置を行うケース：
1,000万円、2団体を目安。
- ②地域にある空き家物件を活用し、改修と設部投資を行うケース：2,000万円、2団体を目安。
- ③土地のみがある状態で、施設の新設と設備設置を行うケース：4,500万円、2団体を目安。

■対象となる団体

- ①本事業のアウトカムを把握し、休眠預金等活用事業の趣旨を理解して取り組める団体であること。
- ②就労支事業所設開設に必要な法人格を有する又は確実に取得できる団体であること。
- ③障害福祉サービスを提供するために必要なサービス管理責任者を配置できること。
- ④就労支援事業所開設のための物件を確保できること。
- ⑤売上3,000万円以上の農業経営であること。
- ⑥生産品目は原則として野菜、果樹、花卉であること。

※なお、本趣旨に沿った内容での複数団体でのコンソーシアム申請を認めます。

■対象地域

福岡県を中心とする九州地域及び宮城県を中心とする東北地域 等

3,000万円以上のそこそこ規模感のある農家は全体の1.5%

障害者の活躍の為には作業の切り出しに加えて、作業量も必要。
しかしながら売上3,000万円を超える農家は全体の1.5%
※年間2,000~3,000万の利用者作業収入が目安



農業者の売上規模別の分布

リード獲得



CROSS AGE inc.

[km-#lname#-km]さまへ
お世話になっております。
株式会社クロスエイジの明石 乃莉香です。

1月の下記日程にてオンラインで【農福連携セミナー&休眠預金活用事業 公募説明会】を開催致します。

農福連携セミナー&休眠預金活用事業 公募説明会

2022年12月23日 金
2023年1月18日 水 20日 金 24日 火 26日 木
17:00～19:00

JANPIA × CROSS AGE inc. × SINKA × ONE GO

➡>> 申し込みをする

雇用の選択肢の一つとして、農福連携に興味のある方もいらっしゃるのではないかでしょうか？

農福連携セミナー&休眠預金活用事業 公募説明会

農家の人手不足と障害者の就労機会の地域差の課題解決へ！

この度「地域のスター農家による農福連携推進事業」というテーマで、
「就眠預金」という助成事業に弊社が採択され、
就労支援施設設立のためのノウハウ+資金面でのサポートを行うこととなりました。

オンライン説明会 ZOOM開催 参加無料！

月23日 金 17:00～19:00 (ライブ)
18日 水 17:00～19:00 (動画配信)
20日 金 17:00～19:00 (動画配信)
24日 火 17:00～19:00 (動画配信)
26日 木 17:00～19:00 (動画配信)

金分配団体が目指すゴールについて（藤野）
ト（SINKA濱砂）
介用】[就労支援施設立ち上げ（ONE GO嘉村）
申請について（明石）

オンライン説明会 ZOOM開催 参加無料！

ある方 口頭相談でアドバイスが欲しい方
印鑑の方 施設立ち上げを検討されている方
印鑑の方 上げて地域の雇用確保を検討されている方

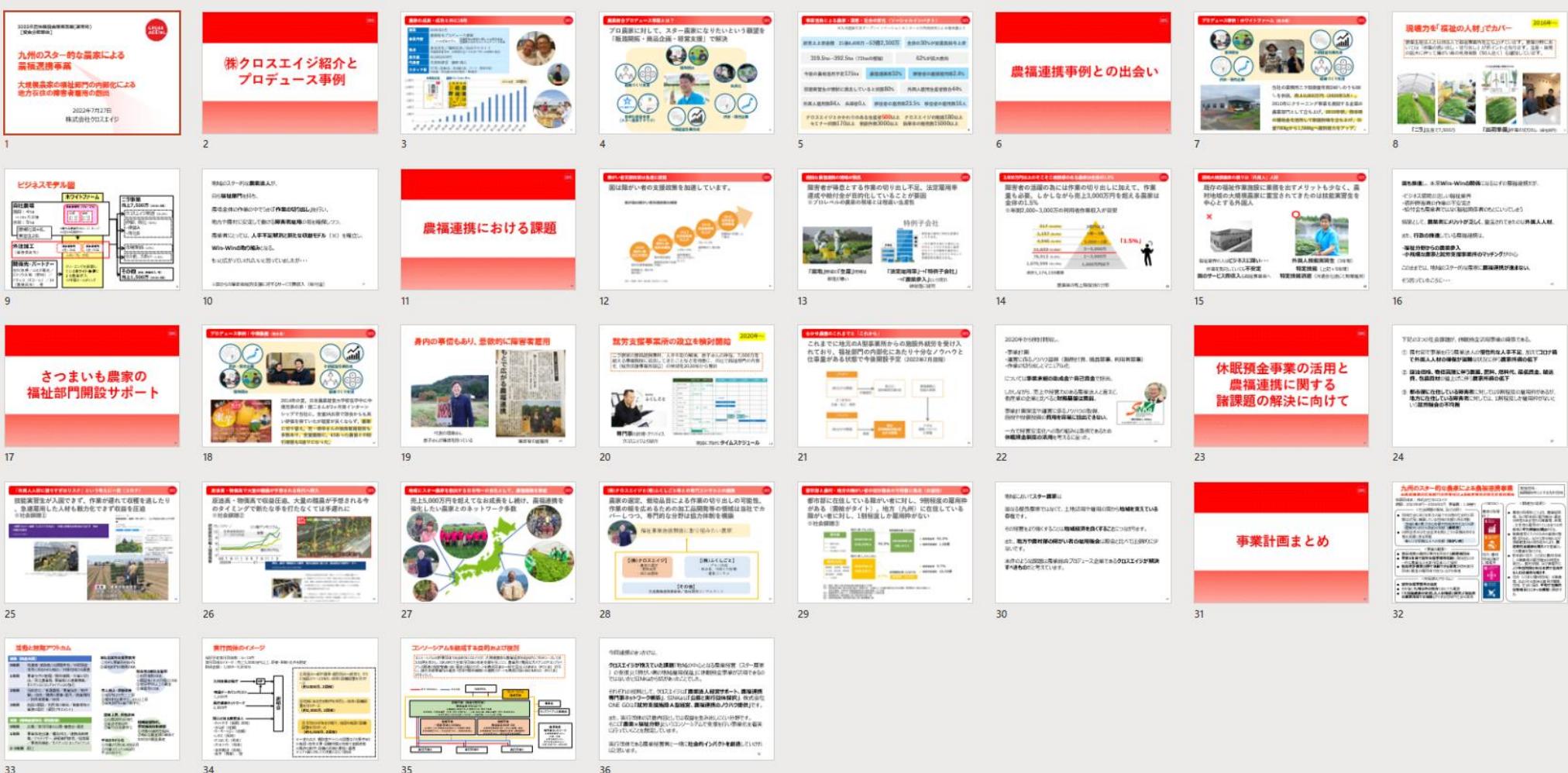
説明会のお申し込みは
 こちらから

合せせき 株式会社クロスエイジ
担当者：横木、明石、井上
電話番号：092-406-9341
Mail : starfarmer@crossage.com
所在地：〒810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通5-10-18 ibbBloomTenjin302

■既存リード3,000件へのメルマガ配信

■売上3,000万円以上の300件の農家へ
資料送付（九州・東北）

応募書類の内容 (PowerPoint)



2022年度通常枠公募前研修_むすびえ 渋谷氏

レコーディング

表示

PowerPoint スライド ショー - JANPIA_PO研修_審査プロセスでの学びの共有_20221018_r2

公募要項 事前説明会 勉強会 相談会 1次審査 事務局書類 2次審査 3次審査 審査員会議 採択

12/13 12/16 12/21 1/5・8・11 1/16~31 2/20~3/6 3/19 3/下旬

むすびえ、2021年度休眠預金通常枠の助成対象事業
オンライン事業計画の立て方勉強会

「子ども食堂をハブとした地域資源の循環促進事業」
-多世代がつながり子どもを見守るまちづくりを目指して-

12月21日（火）14：00～15：00

資料会員料

レコーディング

表示

PowerPoint スライド ショー - JANPIA_PO研修_審査プロセスでの学びの共有_20221018_r2

公募要項 事前説明会 勉強会 相談会 1次審査 事務局書類 2次審査 3次審査 審査員会議 採択

12/13 12/16 12/21 1/5・8・11 1/16~31 2/20~3/6 3/19 3/下旬

No	申請団体	視座	ガバナンス・コンプライアンス	事業の妥当性	実行可能性	継続性	先駆性（革新性）	波及効果	連携と対話	合計選考点（○○審査員）	合計点数（全審査員）	点数順位
1			AA 3.5	A 3	B 2	C 1	D 0	AA 3.5	A 3	16	#REF!	
2			D 0	C 1	B 2	A 3	AA 3.5	B 2	C 1	12.5	#REF!	
3												
4												
5												

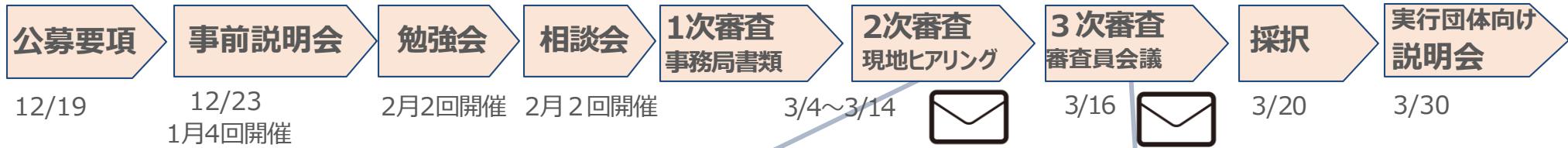
■ 基本的認定基準
ガバナンス・コンプライアンス
事業計画書における事業主識別等につき正確に記載。
事業の妥当性
事業の新しい価値の創造、社会づくりに寄与するか。
実行可能性
実現可能性や実現度、事業計画書の実現性。
継続性
持続性。
先駆性（革新性）
社会の新しい価値の創造、社会づくりに寄与するか。
波及効果
事業から多くの人が学びや感動や刺激、満足を得て社会貢献できるか。
連携と対話
多様な団体との連携、事業の運営過程から終了までの体制的な対話が健在されているか。

採択

ポイント1：流れの設計



ポイント1：流れの設計



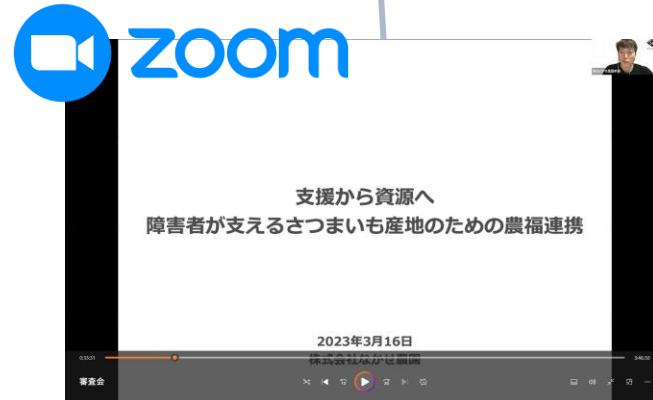
2次審査(現地調査・追加ヒアリング)後の事務局コメント

2023年3月13日 株式会社クロスエイジ

株式会社山都でしか
【事務局コメント】
農家が食育や新規就農支援など山都町のサポートを立ち上げた組織。
山都町の人口は4名で1歳児の先、上級者ばかり十分な支援がある。
雇用創出と地域活性化のための事業や新規就農事業は依然充実だが、障がい者の作業切り出しは明確。
就労支援事務所は来年廃止にさる山都町立新設小学校を使用予定。

一般財団法人 朝日のあたる家
【事務局コメント】
朝日新聞の財團からの財源で震災後10年以上の実績、NPO設立
→ココニ(形成支援、イベント運営、収容斡旋)これまで。
NPO解散予定で、2022年→一般財団法人化。2023年から自立できるように
2022年→一般財団法人化。2023年→一般財団法人化。
→2億円の財源が残っており、毎年2,000万円×10年の運営費確保。
※朝日のあたる家の事業として、就労支援事業を運営する。また15歳未満の人材育成も実施。
代表の八田洋氏(大船渡出身)は岩手県のビッグ管を研修する法定研修官、A-B型の実業経験あり。
専門家として一般社団法人トナリの佐々木代表(現前高田出身)がファンダイバーとして参画。
申請に際してタカラアグリコンソーシアム設立、就農者、生産団体の7件で売上合計4,000万程度で安定した作業が確保できるかが懸念点。
移住者数、新規就農者数、市町村の面積、市町村の人口、市町村の面積割合CS99%以下が9%、高齢・離農者も問題。
タカラアグリコンソーシアムは特化した施設外就労+施設内作業で賃工賃が払えるB型。目的が立てばA型。
事業費は2,857万円(自己資金20%含む)で施設を使用的改築と冷蔵庫の販売、人件費が主な用途。

■ 色跡の一本木があつた農耕田
■ 障がい者は施設で就労が多い
■ 施設の利用(現在は教育や交流の施設として活用)



応募者数のKPI設定

説明会参加者数

申請団体数

採択実行団体数

目標：60人
実績：66人

目標：10団体
実績：9団体

目標：6～10実行団体
実績：6実行団体

一部のジレンマ…
(公平性と内情の熟知)

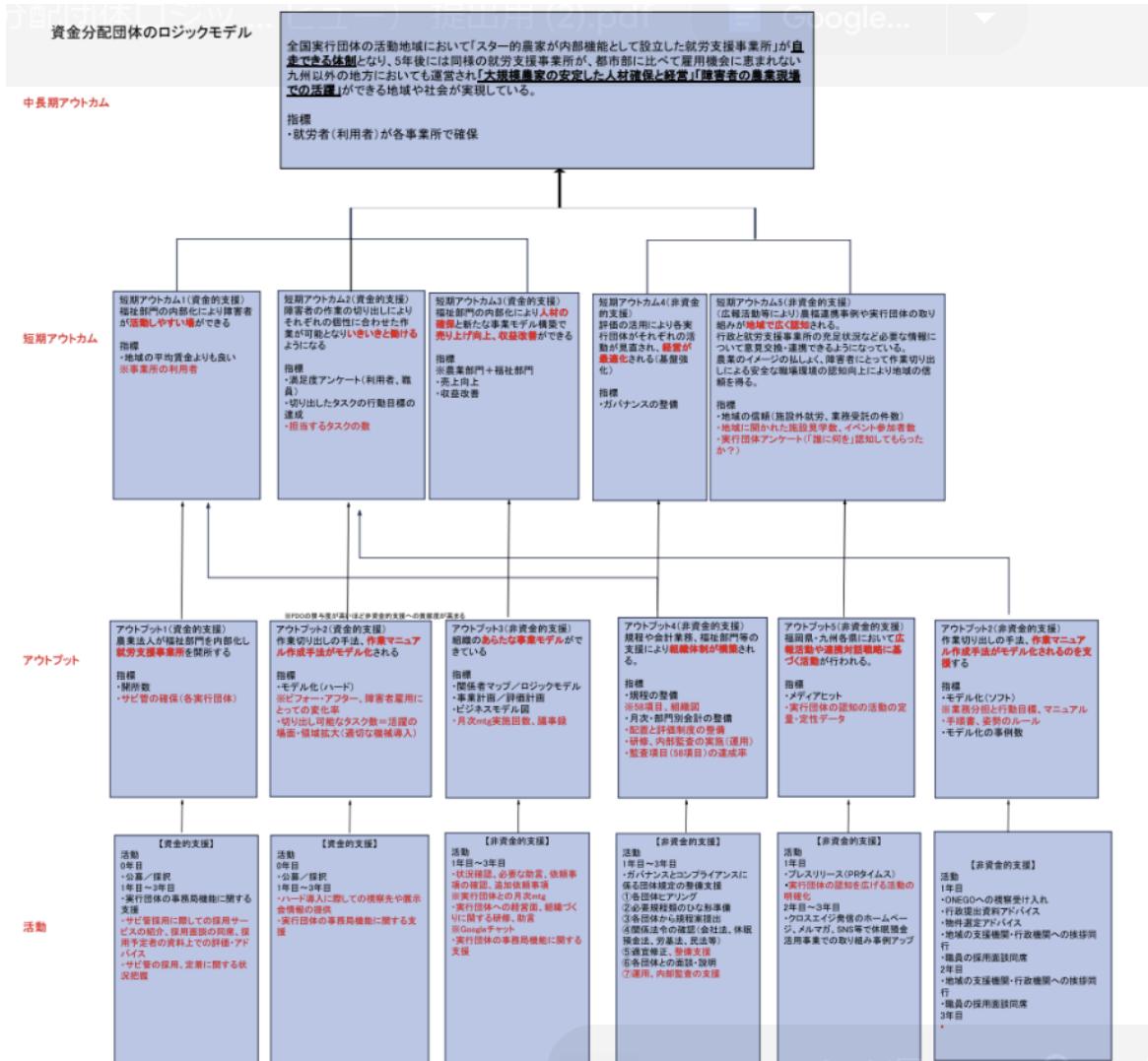


ポイント2：ロジックモデル

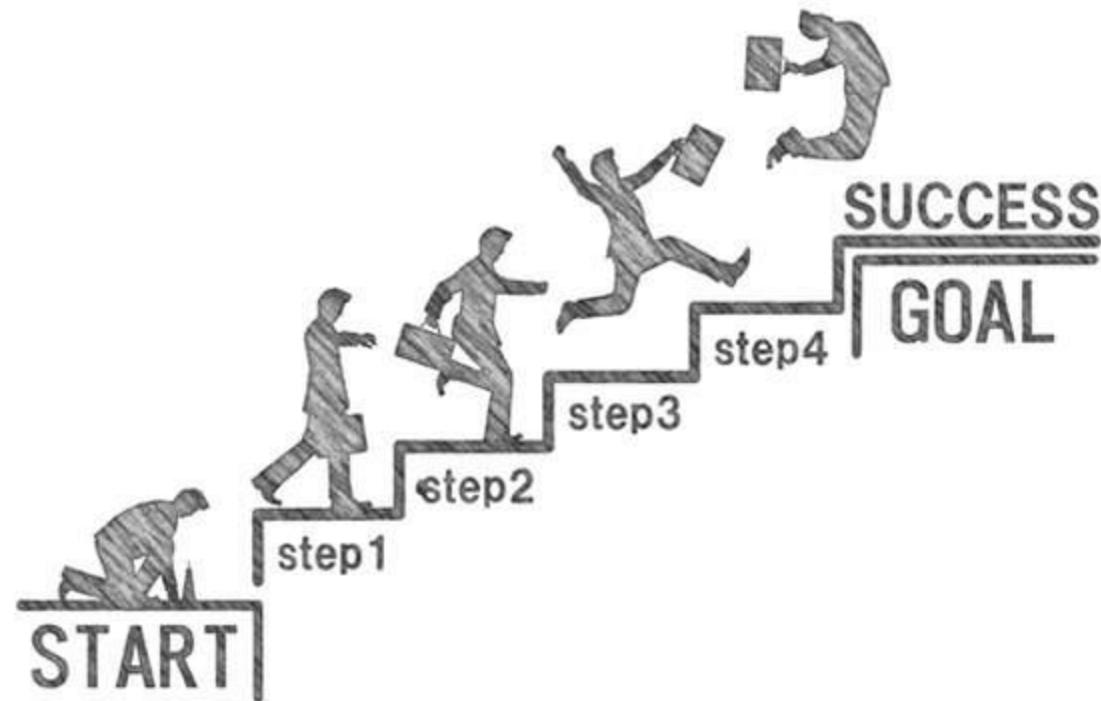
応募時点で作成

採択後に
ブラッシュアップ (2022年12月)

評価専門家 + 担当POと
ブラッシュアップ (2023年10月)



仮説がはっきりしていると楽！



- ①POの役割を担う上で大切にしていること
自分の特性を生かしている部分について**

- ②事業期間の中で「主導者・先導者」として
どんな行動や仕掛けによって
どんな変化を生み出したいと考えているか**

ご清聴ありがとうございました